

---

目次

.....

【1】 --- 教員コラム 18 弾 第 8 回「最近の読書から」救急医療学 / 山畑佳篤

.....

【2】 --- Radiology 誌が再びブロックされました (15 日ぶり 2 度目)

.....

【3】 --- としょかん川柳受賞作品発表

.....

【4】 --- 安藤忠雄氏インタビュー<広小路キャンパス活性化プロジェクト>

.....

【5】 --- 1 階改修工事と年末年始について

.....

【6】 --- 製本に伴う雑誌の利用停止について

.....

【7】 --- 2024 年の図書館 3 大ニュース+10 大ニュース募集!

.....

[Book Review]・・・編集後記にかえて

---

【1】 --- 教員コラム 18 弾 第 8 回「最近の読書から」救急医療学 / 山畑佳篤

.....

昔から本を購入して読む、となるとドキュメンタリーや新書系を選ぶことが多かったような気がします。昔に読んだ記憶に残る一冊もあるのですが、今日は最近一気に読んだシリーズをご紹介します。シリーズといっても同じ出版社から出ているわけではなく、出版社は「山と溪谷社」を中心に、ヤマケイ新書やヤマケイ文庫、一部幻冬舎新書などが含まれ、著者はすべて「羽根田 治」氏です。タイトルは「ドキュメント生還」「ドキュメント道迷い遭難」「山岳遭難の教訓」など…と書くと、あー登山が趣味なのね、自分は登山なんてしないから関係ないや、と思ってしまいそうですが、もうちょっとだけお付き合いください。実はこのシリーズ、医療者にとって興味深い内容になっています。自分もたまに山歩きすることがあるくらいで、本格的な登山というものは 1 回も経験はありません。それなのにどうして興味を持って一気に読み進められたか……？

内容は登山や山歩き、山スキーなどの最中に実際に起こった遭難とその結果について書

かれています。生還した方には直接のインタビューもされています。限られた情報からではありますが遭難に至った要因なども検討されています。それぞれの事例そのものも興味深く読めるのですが、読み進めていくと遭難の状況は様々あっても、その原因は共通していることが見えてきます。「普段慣れているから大丈夫」「自分の経験上これで大丈夫だろう」「時間の制限があつて急いでいる」などから、取り返しのつかない失敗への道に進んでいってしまっています。これって全て医療現場・医療安全にもつながる内容だと思いませんか？生還した事例ではどうやってリカバーしたか、残念ながら生還できなかった事例ではどこがターニングポイントになったか、とても興味深い内容ですので、どれか一冊でも手に取って読んでみてください。そして医療現場に置き換えて読み進めていくと、一気に興味深くなってきます！

※過去の教員コラムは、[こちら](#)です。

---

## 【2】 --- Radiology 誌が再びブロックされました（15日ぶり2度目）

.....

「[Radiology](#)」誌に再び大量ダウンロードのログが検出され、本学からのアクセスが停止されています。

出版社 RSNA から通知されたログによると、12/10(火)7:55:44 から 30 秒間に 25 回のダウンロードがありました。11/25(水)の大量アクセスに引き続き、11日ぶりに復活したものの、残念ながらすぐに2度目の大量アクセスとなりました。12/19 現在、復旧の目途が立っていない状況です。

図書館から出版社に対し、対応等の報告が必要になりますので、「急にアクセスできなくなった」「警告が表示された」などの際は速やかに電子コンテンツ担当(libej@koto~)までご連絡ください。また、電子ジャーナルをご利用の方は、ブラウザの[リンク先読み機能の無効](#)をご確認ください。

---

## 【3】 --- としょかん川柳受賞作発表

.....

秋の読書週間企画『としょかん川柳』には、おかげさまで459人から1277句の川柳をお寄せいただきました。恋の句、うたた寝の句、借りた本を延滞してしまう句、お孫さんとの

微笑ましい句など、様々な切り口で図書館や本を表現していただきました。図書館員全員ですべての句に目を通し、3次に渡る審査を経て、最終は図書館長に決定いただきました。優秀作品は[以下の3句](#)です。

金賞 縫合が 必要そうな 本もあり (みーちゃんの娘。さん)

銀賞 アトラスを 借りて食い込む リュック紐 (サバトラしお子 さん)

銅賞 図書館が 似合う先輩 なりたくて (大燈国試 さん)

たくさんの方に図書館について一句ひねっていただき、附属図書館を知っていただく機会となりました。皆さまご協力ありがとうございました。

---

#### 【4】 --- 安藤忠雄氏インタビュー<広小路キャンパス活性化プロジェクト>

.....

広小路キャンパス活性化プロジェクトホームページ「京都広小路通信」に、安藤忠雄先生方のインタビューが掲載されました。

建築家 安藤忠雄さん [前編](#) 12/10(火) [後編](#) 12/17(火)

三宮の地下街でアルバイトしていた時代に手にした吉川英治の「宮本武蔵」や、大阪の古本屋で見かけたル・コルビュジェ作品集のエピソード。数か月かけて購入した本から広がった世界に、胸躍るインタビューです。京都府立医科大学の医療人へ、嬉しいメッセージもいただきました。

◆広小路キャンパス活性化プロジェクトのXは[こちら](#) ♪フォローお待ちしております♪

---

#### 【5】 --- 1階改修工事と年末年始について

.....

1階閲覧室北エリアの壁面塗り替えと床カーペット交換のため、年末年始にかけてエリアへの入室ができません。ご不便をおかけしますが、改修工事中は [2階閲覧室](#)や[地下](#)のデスクをご利用ください。

◆2024/12/25(水)~2025/1/24(金) 1階北エリア入室禁止

なお附属図書館は以下の期間、休館します。

◆2024/12/18(水)～2025/1/5(日) 下鴨館休館

2024/12/28(土)～2025/1/5(日) 本館休館

年明けは 2025/1/6(月)9:00 から開館します。

電子ジャーナル、契約データベースは年末年始に関わらず利用できます。

また、システム更新に伴い、現在以下のサービスを停止中です。

◆2024/12/18(水)～26(木)

- ・ [マイライブラリ](#)の利用
- ・ [空室情報](#)の利用
- ・ [図書館利用証](#) (研修員等)
- ・ 教室図書の登録受付

---

## 【6】 --- 製本に伴う雑誌の利用停止について

.....

2022 年発行雑誌を中心に製本作業を行います。作業に伴い、一部の雑誌が貸出・閲覧停止になります。

◆[対象資料](#)(一部、2022 年以外の発行分を含みます)

◆[スケジュール](#)

2024/12/19(木)～ 貸出停止

2025/1/6(月)～ 閲覧停止

2025/3 月上旬 出来上がり

---

## 【7】 --- 2024 年の図書館 3 大ニュース+10 大ニュース募集！

.....

令和 6 年最後のメールニュースは長文になりました。最後までご覧いただきありがとうございます。2024 年は広小路キャンパス活性化プロジェクトが 2 年目を迎え、積年の課題をいくつか実現することができました。来年のラーニングコモンズ新設に向けて準備を重ねつつ、この一年を振り返り、編者の独断と偏見で図書館 3 大ニュースをランキングしま

した。

- 1.地下書庫はすべて電動書架に生まれ変わります[[9/12](#)号]
- 2.学生証/職員証と図書館利用証が一体化しました[[5/9](#)号]
- 3.特別講演会の開催（「知られざる掲載誌～芥川龍之介お伽噺にまつわる発見」、安藤忠雄氏、泉麻人氏、北村薫氏/松岡和子氏）[[3/14](#)、[9/26](#)、[10/24](#)、[11/21](#)号]

無理矢理 3 つに絞りましたが、今年の実績は他にもたくさんあります。皆さんの心に残るニュースは何ですか？

2024 年を振り返り、広小路キャンパスの 10 大ニュースを募集します。広小路キャンパス（附属図書館、看護学学舎、広小路キャンパス活性化プロジェクトなど）に少しでも関係があるなら、どんな出来事でも構いません。10 個なくても、1 つでも 2 つでも投稿は大歓迎です。12/26(木)までに[こちら](#)へお寄せください。投稿いただいた出来事を参考にして、広小路キャンパスの 10 大ニュースとしてホームページで発表させていただきます。

例) ●広小路キャンパスプロジェクト公式 SNS の開始 ●学生証/職員証と図書館利用証の統合 ●地下書庫全面電動化 ●一階書架の撤去 ●広小路通信ホームページ作成 ●マンガコーナー開設 ●芥川龍之介作品発見の講演会 ●安藤忠雄氏特別講演会 ●泉麻人氏特別講演会 ●北村薫氏/松岡和子氏特別対談 ●川柳コンテスト（秋の読書週間）●しおりコンテスト（秋の読書週間）●キッチンカー毎日出店 ●特別な寄附返礼品の製作 ●寄附がクレジットカード決済可能に ●地下閲覧室の椅子がおニューに ●電子ブックを 2 階書架に表示 など

それでは皆様、どうぞ良いお年をお迎えください。

---

## [Book Review]

.....

瀬尾まいこ『天国はまだ遠く』（新潮文庫 2006 年）

息が詰まりそうな毎日、死ぬつもりで辿り着いたのは山奥の民宿。しかし失敗におわり、そこで過ごす主人公 千鶴の 21 日間が描かれています。何もない田舎だけど、おいしいごはん、自然と向き合う暮らし、そして大らか(すぎる?)な民宿の田村さん。心も体も癒されていきますが 彼女は気づきます、ここは自分の居場所ではないと。先のことは何もわからない

くても 一歩を踏み出したのはここでの日々があったから。最後の千鶴と田村さんの会話は  
ちょっとせつなかったけど、さらっと終わっていくところもまた清々しい読後感がありま  
す。(Y.M)(京都府立図書館所蔵「[K-Libnet](#)」で貸出が可能です)

KPUM Library Booklog : <https://booklog.jp/users/kpumlib>

この本のページ : <https://booklog.jp/edit/1/4101297711>

.....

図書館メール News533号      2024.12.19 発行 (隔週木曜日発行)

編集・発行：京都府立医科大学附属図書館

[library@koto.kpu-m.ac.jp](mailto:library@koto.kpu-m.ac.jp)

<https://www.kpu-m.ac.jp/k/library/>

.....

(図書館メール News のバックナンバーはこちらから↓)

<http://www.kpu-m.ac.jp/k/library/webservice/mailnews.html>